

令和6年度

第1回教育課程編成員会
報告書

令和6年8月6日(火)

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

令和6年8月6日

第1回教育課程編成委員会 報告書

日時：令和6年8月6日(火) 10:30~12:30

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：イーキュア株式会社 福盛 二郎 様

ニコヘアデザイン 石田 晃教 様

小原校長 酒井2学年主任、中村1学年主任

議事

1. 校長挨拶

本日は、小口教務主任が長野校にて教育センター主催の研修会参加のため欠席です。変わって2年生酒井主任に同席いただきます。ご了承ください。

2. 2024年度自己評価について(資料1) ・2024年度 実施報告 (変更事項一覧)

基準1「学校理念」

- ・学校の特色となる、国家試験の合格率向上のため先生方の協力体制を高めていただき尽力いただきたい。

基準2「学校運営」

- ・過去には「美容学校に行くとハワイ旅行に行ける」という入学動機にも繋がる修学旅行であったが、時代が変わり各家庭での教育費の負担感を軽減する配慮も必要である。
- ・生徒個々に満足感を与えるイベントの在り方を工夫しながら、費用に対する効果を見据えて現状を変えていく必要がある。

基準3「教育活動」

- ・多様な生徒に関わる先生方への心身に関わる手立ても必要である。
- ・生徒のメンタルの弱さや心の病に対する知識や対処法も、先生方のスキルとして身に付けていく必要がある。

基準4「学修成果」

- ・今年度1年生の入学者に社会人経験者の比率が高く、落ち着きにくいクラスのムードを和らげている。クラスのお手本のような存在になっている。
- ・反面、年長者の在学満足度を下げてしまうような事態にならないように、教師側の十分な配慮が必要と思われる。

基準5「学生支援」

- ・学校運営としての学生寮の在り方には課題も有るが、遠方者からの入学動機や長野県外からの入学生受け入れ手立てとして、学生寮の存続は重要である。
- ・高校生の都会志向は、今も昔も変わり無く続いていくと思われる。視点を変えて長野県内美容学校としての学び易さ、暮らしやすさを前面に掲げて、県外者の入学動機に繋げていくことも可能ではないかと思われる。

3. 2024年度重点目標について（別紙1）

- ・3つの重点項目について、バランスよく改善できていると思います。引き続き課題を共有しながら教職員の協力体制を高める取り組みに期待します。

4. 2023年度2年生就職状況について（別紙2）

- ・理美容業界への就職を希望しない生徒もいるが、業界側からは人手不足が慢性化している現状がある。受け入れるサロン側の努力と共に、学校側の指導による改善を望みます。
- ・都会への就職の現状について、都会のサロンで上手くいかずに卒業後地元への再就職を希望する卒業生の意識を変えていく必要がある。都会で上手くいかなかった事例に対して必ずしも本人だけの問題ではなく、生活環境を含めた多面的な要因がある。自責の念を持ち過ぎて、理美容業を諦めることが無いように、業界としても貴重な人財として見守り、受け入れていきたい。

5. 2024年度職業実践専門課程 選択科目（別紙3）

- ・選択教科を実施することで、生徒希望からの調整が難しい面もあると思われるが、少人数になれば指導が行き届くメリットなり、大人数であれば興味関心の高い実習となる。引き続き、外来講師との連携を高めて内容をアップデートしていただきたい。

6. 委員からの提案

・福盛委員からの提案

多様な生徒と関わる、先生方の心身のケアを重要視していただきたい。先生方の前向きな取り組みが、生徒の満足度に繋がっている。

学生寮に関する課題も有るが、県内に留まらず広く学生募集を周知する手立ても必要と思われる。

DMについては、高校生に限らず社会人であっても「手書き」「住所記載」に対して抵抗感が生じている。SNSからの発信を強化することしか、今のところは手立てがない。

・石田委員からの提案

先生方の日々の取り組みは大変ですが、心身の健康管理が大切です。

学生募集は年々厳しさを増していきますが、県内外の希望者に対して引き続き松本校の強みをアピールしていただきたい。

何よりも「口コミ」の情報伝達は速度も効果も甚大であるため、日常の改善に努めていただきたい。

次回 2024年度 第2回教育課程編成委員会

令和7年 3月 10日（月） 10:30～